

8-4-22 無電柱化WG

1. 主な活動の記録

(1) 無電柱化WGの開催

WG開催回数：1回（7月）

委員への意見照会：2回（9月、3月）

(2) 活動報告

a) 無電柱化推進技術検討会への対応

平成28年12月の無電柱化推進法施行を背景に、防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成の観点から無電柱化に取り組んできたが、近年の災害の激甚化・頻発化によりその必要性が一層高まっている。さらに令和3年5月に「無電柱化推進計画」が策定され、無電柱化整備の更なる低コスト化、事業のスピードアップ化が求められており、無電柱化のより一層の推進に向け、国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により、令和2年度に設立された無電柱化推進技術検討会へ参加し、低コスト化や事業のスピードアップにおける課題の抽出等に取り組んでいる。無電柱化推進技術検討会は、学識者の他、電力、通信、民間、UR都市機構、コンサルの代表者で構成され、WG検討結果はコンサルWGとして報告した。

・無電柱化推進技術検討会：書面報告（3月）

b) 無電柱化WG活動

令和元年度に新基準（「道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き（案）Ver.2」、および各地整電線共同溝マニュアル）が発出・改訂され、無電柱化事業の更なる推進に向け、事業のスピードアップや低コスト化に取り組んでいる。しかしながら、新基準の適用にあたり、課題が散見されることから、更なる設計事例の蓄積のため令和3年度の設計事例を含め収集・整理をしているところである。

c) 合意形成WGへの参画

①無電柱化事業における集中的な施工の実施に関するヒアリング

無電柱化の施工の効率化の検討のため、電線

共同溝工事における各工事を同時または連続して実施する「集中的な施工」に関するヒアリングへ対応した。

・合意形成WG：ヒアリング（6月）

②合意形成に係る技術ガイド策定への参画

令和2年度の「基礎編」に続き、「本編」に関する会議に出席し、技術ガイド（案）に対し設計者の立場から意見を提示した。

・合意形成WG：会議出席（3月）

d) 面整備事業における無電柱化推進WGへの参画

官または民で行なわれる面的整備事業における無電柱化推進を目的に令和2年度に「面整備事業における無電柱化推進WG」が設立され、国土交通省都市局市街地整備課の要請により、当WGへ参加している。WGでは無電柱化推進のためのガイドラインの策定に取り組んでおり、設計者の立場から意見を提示した。

・面整備事業における無電柱化推進WG：会議出席（3月）

e) 活動成果

今年度も昨年度に続き各会議に出席し、無電柱化整備の低コスト化やスピードアップについて、設計コンサルのこれまでのノウハウ・経験を活かし、設計者の立場から、実現に向けた積極的な意見を提示した。また、各種ガイドライン策定へのプロセスの一端を担った。

2. 次年度の活動について

無電柱化の更なる推進のため、無電柱化事業の低コスト化・スピードアップ化に向け、引き続き活動を継続するとともに、技術的ノウハウの普及に努めていく。

（無電柱化WGWG長 沼田 和宏）